

2024年度（令和6年度）第3回定時理事会 議事録

[1] 開催：2024年12月13日（金）13:00～18:21

- ・会議形式：実会議とインターネット・ウェブ会議（ZOOM）併用
- ・実施会場：Japan Sport Olympic Square 14F 岸清一メモリアルルーム（東京都新宿区）

[2] 出席（理事27名、監事3名）：

岩城光英、仲井公哉、大塚眞一郎、岸田吉史、山倉紀子、鈴木貴里代、和田知子、村瀬訓生、関根明子、上田藍、石井なおみ、森幸、中山俊行、伊藤一博、的場美友紀、豊岡正康、小田英男、川添勝、島津寿江、北村格一、須山浩光、村上幸生、池淵功寛（以上、理事23名会議室出席）佐藤圭一、菊池日出子、谷真海、大関辰郎（以上、理事4名オンライン出席）荻原政吉（以上、監事1名会議室出席）秋山智昭、齊藤栄太郎（以上、監事2名オンライン出席）

オブザーバー（11名）

顧問（1名）中山正夫 JTU事務局顧問（以上1名会場出席）専門委員（3名）海野浩 技術委員会委員（以上1名会場出席）佐藤錬 アスリート委員会副委員長、若山源二郎 エイジグループ普及特別委員会（以上2名オンライン出席）強化本部（7名）川合貴紀、田山寛豪、吉越美佐、稲田大輝、忽那静香、土屋佳司（以上、6名会場出席）福井英郎（以上、1名オンライン出席）

強化本部（7名）川合貴紀、田山寛豪、吉越美佐、稲田大輝、忽那静香、土屋佳司（以上、6名会場出席）福井英郎（以上、1名オンライン出席）、専門委員（3名）海野浩 審判委員会（以上1名会場出席）、佐藤錬 アスリート委員会副委員長、若山源二郎 エイジグループ普及特別委員会（以上2名オンライン出席）

事務局出席（9名）

坂田洋治、児玉健太、則俊直哉、萩原舞、大岩葵、内藤裕也、秦絵莉香（会場出席）
長江千明、島村直子（オンライン出席）

[3] 議事の経過

JTU定款第6章（理事会）第34条（決議）により、進行役の児玉事務局次長が、利益相反による一時離席などについて説明の後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款33条（議長）により、岩城会長が議長として開催宣言を行い、同第23条（理事の職務及び権限）による会長及び業務執行理事の職務執行状況を報告した。その後、定款第35条（議事録）により、岩城会長、荻原監事を議事録署名人、大塚専務理事、島津理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者に事務方を指名して議案の審議に入った。

[4] 審議事項

第1号議案）前回議事録

2024年度（令和6年度）第2回定時理事会】の議事録について、メール回覧済であるとの児玉事務局次長の報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項）2024年度（令和6年度）第2回定時理事会（2024年9月25日開催）議事録（案）

第2号議案) マーケティング・事業局関連

標題について、坂田マーケティング事業局長から説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1) 2025年度国際大会・国内選手権大会カレンダーと国内選手権公募概要

承認事項2) 2025年国内エリート大会 出場基準 (案)

- ・2025年コンチネンタルトライアスロンカップ (国内) 出場推薦基準
- ・日本トライアスロン選手権/日本U23トライアスロン選手権、日本SPトライアスロン選手権、日本SSPトライアスロン選手権、日本U23SPトライアスロン選手権、日本ジュニアトライアスロン選手権、全国高等学校選手権、日本ロングディスタンストライアスロン選手権優先出場基準、日本アクアスロン選手権、日本デュアスロン選手権、日本エイジグループトライアスロン選手権、日本エイジグループスプリントトライアスロン選手権、日本エイジグループロングディスタンストライアスロン選手権

出場基準

- ・2025年強化費一覧

承認事項3) 2025年日本選手権クオリファイシリーズ/大学生・高校生シリーズランキング制度

承認事項4) 2025NTTエイジグループナショナルチャンピオンシップシリーズ概要

承認事項5) 2026エイジグループ IF/AF選手権 日本代表出場基準

承認事項6) 2025クラブサポートプログラム

承認事項7) 2025新規後援大会申請

アミノバイタル®沖縄アクアスロン 春の3連戦 (2/24 豊見城市 豊崎海浜公園、3/9うるま市石川公園、3/23宜野湾市 宜野湾海浜公園)

第3号議案-1) 強化本部体制

標題について、仲井副会長及び児玉事務局次長より説明があり、川合オリンピック・ナショナルヘッドコーチ候補と福井パラリンピックナショナルヘッドコーチ候補から初信表明があった。山倉常務理事、岸田常務理事、山根理事、菊池理事、中山理事が本件対象者のため利益相反となり議長が一時退席を要請した後、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1) 強化本部体制

オリンピック・ナショナルチーム：ヘッドコーチ・川合貴紀（東京）、ナショナルコーチ・村上晃史（栃木）、次世代ヘッドコーチ・田山寛豪（茨城）、次世代ナショナルコーチ・武友綾巳（福岡）、次世代ナショナルコーチ・倉内千紘（愛知）、種目別コーチ・柿木孝之（福島）

パラリンピック・ナショナルチーム：ヘッドコーチ・福井英郎（愛知）、アシスタントコーチ・菊池日出子（福島）、コーチ・蔵本葵（東京）、コーチ・森田翼（千葉）、競技パートナー・寺澤光介（東京）

マルチスポーツ・ナショナルチーム：ヘッドコーチ・平松弘道（東京）、スタッフ・若山源次郎（東京）

アナリストチーム：バイクアナリスト・柿木克之（神奈川）、スタッフ・森谷直樹（東京）、スタッフ・谷口耕輔（東京）

サポートチーム：トレーナー・蓮沼裕二（福島）、メカニック・塩野谷聡（東京）

担当コーチ：飯島健二郎（山梨）、パウロ・ソーザ（海外）、平野司（東京）、山倉和彦（東京）

タレント発掘育成：常務理事・岸田 吉史（京都）、理事・中山俊行（神奈川）、理事・富川理充（神奈川）、マネージャー・土屋佳司（神奈川）

リージョナルリーダー：北海道東北・蓮沼哲哉（福島）、関東東・吉越慎吾（千葉）、東京・杉本宏樹（東京）、関東西・飯田忠司（埼玉）

東海北信越・浅沼美鈴（愛知）、近畿・八尾彰一（兵庫）、中国四国・小原工（鳥取）、九州沖縄・武友潤（九州）

マネジメントチーム：稲田大輝（埼玉）、忽那静香（東京）、吉越美佐（千葉）、杉本宏樹（東京）、山根英紀（千葉）、山倉紀子（東京）

*2024年度（2025年1-3月）の体制であり、2025年度4月以降の変更内容は次回理事会（2025年3月）で再審議を行う。

第3号議案-2）強化関連基準

標題について、児玉事務局次長及び菊池理事より説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1）オリンピック・ナショナルチーム関連基準

- 1) JTU オリンピック・ナショナルチームプログラム＜案＞
- 2) JTU オリンピック・ナショナルチーム次世代プログラム＜案＞
- 3) ワールドトライアスロン・アジアトライアスロン公式大会JTU出場推薦基準＜案＞
- 4) ワールド/アジアトライアスロン公式大会以外の国際イベント出場推薦方針＜案＞
- 5) ワールド/アジアトライアスロン公式大会・派遣基準（2025年1-3月）＜案＞
- 6) ワールド/アジアトライアスロン公式大会・ユニフォーム基準＜案＞
- 7) JOCオリンピック/ネクストオリンピック強化指定選手JTU推薦基準＜案＞
- 8) NTTランキング（エリート・U23）＜2025年案＞
- 9) NTTランキング（ジュニア）＜2025年案＞
- 10) 認定記録会（運営マニュアル）変更＜案＞

承認事項2）マルチスポーツ・ナショナルチーム関連基準

- 1) 2025アイアンマンプロ登録証明書 発行基準＜案＞
- 2) 2026IF /LD選手権 エリート日本代表選考基準(案)
- 3) ワールド/アジアトライアスロン・デュアスロン/アクアスロン選手権JTU出場推薦基準＜案＞
- 4) ワールド/アジアトライアスロン・マルチスポーツ公式大会JTU派遣基準＜案＞
- 5) ワールド/アジアトライアスロン・マルチスポーツ公式大会JTUユニフォーム基準＜案＞

承認事項 3) パラリンピック・ナショナルチーム関連基準

- 1) 2025年JTUパラリンピック・ナショナルチームプログラム<案>
- 2) 2025年JTUパラリンピック・ナショナルチーム次世代プログラム<案>
- 3) 2025年JTUパラリンピック・タレントプログラム<案>
- 4) 2025年JTUパラリンピック・ナショナルチーム候補選手登録プログラム<案>
- 5) 2025ワールドトライアスロン (IF) パラトライアスロン公式大会 選考基準<案>
- 6) 2025アジアトライアスロン (AF) パラ選手権・コンチネンタルパラカップ 選考基準<案>
- 7) ワールドトライアスロンパラ公式大会・ユニフォーム基準 (2022-2024年)

第4号議案) 国民スポーツ大会関連

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項 1) 第79回国民スポーツ大会 (滋賀) トップアスリートの予選会免除の適用申請
「第79回国民スポーツ大会 (滋賀)」では予選会免除対象大会の申請は行わない。

承認事項 2) 第79回国民スポーツ大会 (滋賀) トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置の適用内容

「中央競技団体が定めた強化指定選手」を特例の対象選手とする。オリンピックナショナルチームプログラムと連動をさせ、2025年4月1日に対象選手を定める。

第5号議案) 技術審判関連

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項 1) 国際大会TD・ATDの推薦候補

渡邊英夫 (神奈川) TD (2025 Asia Triathlon Sprint Championships Hongkong)

日程: 2025/4/5-6 会場: ホンコンチャイナ・香港

小林裕明 (神奈川) TD (2025 Asia Triathlon Cup Dexing in China)

日程: 2025/4/19 会場: 中国・徳興市 (とくこうし)

海野浩 (神奈川) aTD (2025 - Asia Triathlon Cup Osaka Castle)

日程: 2025/5/25-26 会場: 大阪府・大阪城

北野健二 (東京) aTD (2025 Asia Triathlon Cup Gamagori)

日程: 日程確認中 会場: 愛知県・蒲郡

門屋良 (愛媛) aTD (2025 - 2026 Asian Games Test Event/2025 Asia Triathlon Cup Gamagori)

日程: 日程確認中 会場: 愛知県・蒲郡

小田智子 (東京) TD (2025 Asia Triathlon Cup Yilan)

日程: 2025/9/26 会場: チャイニーズタイペイ・イーラン

花井哲 (神奈川) aTD (2025 - Asia Triathlon Para Championship Chiba)

日程：2025/10/11-12 会場：千葉県・千葉市

小金澤光司（神奈川）TD（2025 - Asia Triathlon Youth & U15 Championships Al-Khobar）

日程：2025/11/7-8 会場：サウジアラビア・アルコバール

承認事項2）2025JTUテクニカルオフィシャル（T0）海外派遣事業

第6号議案）2025大会参加承諾書（変更方針）

標題について、児玉事務局次長より説明があり、秋山監事から補足説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項）主催公認大会用承諾書の変更

説明骨子：JTU競技規則に掲載している「主催公認大会用承諾書の参考案」について、適格消費者団体から消費者契約法第8条（事業者の損害賠償責任の一部免責条項を無効とすること）に係る指摘があり、第7条（大会中止・変更、競技用具類の盗難・紛失・破損等）の変更を行う。

変更内容1）第7条 第1項 について、各大会概要で定める返金ポリシーに準じた対応を行う内容での記載を行う。

変更内容2）第7条 第2項（大会中止・変更、競技用具類の盗難・紛失・破損等）の変更箇所。

- ・修正前：・・・主催者の重大な過失がある場合を除き・・・
- ・修正後：・・・主催者の過失がある場合を除き・・・

第7号議案）組織名称変更手続き

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

・承認事項）法人名称の変更方針

2019年3月の理事会承認後、「Triathlon Japan」をコミュニケーションネームとして従来名称と併用してきた。この実績を背景とし、2024年の設立30周年を契機に、法人名称の変更案を社員総会に提出する。

-変更時期：2025年6月定時社員総会

-法人名称の変更（和文案）：公益社団法人 トライアスロンジャパン

-法人名称の変更（英文案）：Triathlon Japan

-略称：「TJ」「TRIJ（またはTrij）」「TRJ」等（2025年3月理事会で方針を決議）

-ロゴ：調整中（2025年6月理事会で方針決議）

- ・補足事項1）定款の変更、商標の登録手続きについて行政書士指導の元、手続きを行う。
- ・補足事項2）本変更に伴い、加盟団体の法人名の変更を促すかは次回理事会で方針の説明を行う。

- ・補足事項3) 公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)の名称は、継続的にプロテクトされるよう対応する。

第8号議案) 財務関連

標題について、児玉事務局次長より説明があり、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。本議案の決議の後に、大塚専務理事より財務関連に関する補足の報告があった。

承認事項1) 横浜銀行からの横浜WTCS開催に伴う短期借入

ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会のスポーツくじ助成の精算払いまでの運営資金として横浜銀行より短期借入をJTUの名義で実施。

金額: 1億円 (上限: 利息調整)

-調達時期: 2024年12月

-返済期日: 2025年7月31日(予定)

承認事項2) 横浜大会 総合リース会社と横浜WTCS開催に伴う連携対応

ワールドトライアスロンシリーズ横浜大会とのファイナンスに関するスポーツイベント取り組み事案として、総合リース会社と連携を行い、大会開催に必要な運営リソースを活用した連携事業を検討する。

報告事項1) 義援金関連

令和6年能登半島地震・能登半島豪雨災害義援金として、2024年12月に石川県トライアスロン協会を通じて珠洲市へ1,000千円を寄付予定

報告事項2) 2024年度上期執行状況

第9号議案) 組織関連

標題について、児玉事務局次長より説明があり、各議案毎に利益相反の対象となる伊藤理事、川添理事、鈴木常務理事、関根理事、中山理事に議長が一時退席を要請した後、質疑応答の後に、議長が賛否を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

承認事項1) 2025-2026役員候補者選考委員会関連

2025年定時社員総会の役員改選に向けて次回理事会でJTU役員候補者選考委員会委員の選出を行う。

- ・2025年4月から5月にJTU役員候補者選考委員会を開催。
- ・2025年6月5日の定時理事会にてJTU理事・監事 推薦候補者一覧を審議。

承認事項2) 公認コース審査委員会(特別委員会)の設置

委員長: 伊藤一博(JTU技術委員会委員長/千葉)、副委員長: 川添勝(JTU審判委員会委員長/東京)

委員：花井哲（JTU審判委員会副委員長/神奈川）、門屋良（JTU技術委員会委員/愛媛）

承認事項3）2025-2026専門委員会 組織構築方針

2025年定時社員総会に向けて次回理事会で専門委員会組織の統合・解体・新設などの審議を行う。

承認事項4）2025-2026 日本スポーツ協会・日本オリンピック委員会（理事・評議員）推薦
日本オリンピック委員会（JOC）理事推薦候補・坂田洋治（マーケティング事業局・局長/東京）新規推薦

日本オリンピック委員会（JOC）評議員推薦候補・鈴木貴里代（常務理事/愛知）継続推薦

日本スポーツ協会（JSP0）理事推薦候補・関根明子（理事/埼玉）新規推薦

日本スポーツ協会（JSP0）評議員推薦候補・中山俊行（理事/神奈川）継続申請

承認事項5）表彰関連

2024年度日本スポーツ賞・ニナー賢治（栃木）

2024年度日本パラスポーツ賞・木村潤平（東京）

2024年度ミズノスポーツメントール賞・村上晃史（栃木）

承認事項6）2025年度 定時社員総会の日程案

2025年6月26日（木）13時開始予定（場所：都内）

〔5〕報告事項

報告事項1) 危機管理事象

- 1) 加盟団体での選手表彰関連手続きに関する事案
- 2) 大会での遺失物に関する取り扱いに関する事案
- 3) 国体選考手続きに関する事案
- 4) 各種危機管理案件の再発防止に向けた体制の構築について加盟団体への情報共有機会を設置する
- 5) 荻原監事より、PFの名称変更についての注意喚起

報告事項2) 事業関連

- 1) 2025オフィシャルパートナー提案方針
- 2) 企業への選手紹介（就職/競技支援等）

報告事項3) 2025広報戦略

- 1) Triathlon Japan ON the Podium
- 2) Triathlon Japan Newsletterの発信
- 3) エイジNCSの価値向上を目的としたSNS発信

報告事項4) 国際関連（2025基本方針案）

- 1) 国際対応力のあるスタッフの育成事業の推進
-JOC国際人養成アカデミー/国際展開事業 等の研修事業への派遣推進

2) 国際指導者の養成

-海外指導者研修事業の派遣 ・ IFコーチ資格取得の推進

3) 国際テクニカルオフィシャルの養成

-国際審判員養成プロジェクトの推進・ IFTO資格取得セミナーの開催推進

4) アスリートの国際化推進、国際大会と連携した研修事業

-海外派遣事業、 国際連携事業の推進

報告事項5) 会員登録関連

2025年度登録者数は、前年比125%で推移中

報告事項6) セミナー関連

1) 加盟団体連携推進会議 2024/12/16開催

2) 事業計画の報告

- 大会事業: 2025 イベントカレンダー/主要事業

- 強化事業: 2025年新体制概要/主要事業

- 普及事業: オリパラ発掘 教育/主要事業

3) 関連事業予定の連携 (2025年1-3月)

- テクニカルオフィシャル (TO) セミナー

- 加盟団体コンプライアンス推進会議

- 公認指導者コンプライアンス研修会

- トライアスロン研究会

- パラトライアスロンミーティング

報告事項3) 都道府県競技団体 地域ブロック関連 (2025年度登録、表彰など)

・北海道ブロック アイアンマンみなみ北海道エントリー12/16スタート、38回続いたデュアスロン大会が終了したため、別大会で救済を検討。

・東北ブロック 青森国スポに向けてブロック全体での盛り上げ。酒田大会が厳しい状況となっており他県でのフォローを摸索中。2025年の七ヶ浜大会の日程交渉中。

・関東ブロック 関東ブロック内のレース日程の決定および公表プロセスに苦慮している。

・東京ブロック 海の森アジアカップについて東京都との助成の折り合いがつかず。海の森関連の情報共有として、公園が開業し賑わっているため、トライアスロンの実施が厳しくなる可能性。

・北信越ブロック 能登義援金の御礼、ブロック内で発生した危機管理案件をきっかけに加盟団体と会員のコミュニケーション不足の解消を図る。

・東海ブロック ブロック内全県法人化に伴い4県揃ってのブロック会議実施。静岡県協会と日赤の連携。

・近畿ブロック 選手の好評を得てエイジNCS近畿の第2回開催。1月開催のブロック拡大協議会は「選手に選ばれる大会の研究」「法人化のその後」をテーマに開催予定。

・中国ブロック 11/30中四国ブロック大会主催者会議を開催。2024年シーズンの報告と、来年の情報共有、西日本学生トライアスロン選手権、福山、愛南、の3大会が同日開催予定、全国のTOへの協力を募る予定

- ・四国ブロック エイジNCS四国・中国を開催、香川県の法人化を24年度内目指して進行中。愛媛県が来年40周年を迎えるので、これをきっかけに法人化したい。
- ・九州ブロック 佐賀国スポ無事開催の御礼。五島長崎、天草など来年大会の実行委員会が続々開催。佐賀県が法人化検討中。
- ・沖縄ブロック 各大会の情報共有を目的に、JTU沖縄ブロック会議を1月開催予定。新規大会の計画とあわせて、T0の育成増加も検討。公認トライアスロンコーチ養成会2月開催。

報告事項7) 専門委員会関連

事業企画委員会：2030島根国スポの中央競技団体視察レポート…輸送と宿泊に課題あり。

アスリート委員会：トライアスロンに興味がある子供たちの地域の窓口の必要性。

〔7〕次回会議日程

第4回定時理事会

2025年3月13日（木）13時～18時 東京都内

〔8〕閉会宣言

仲井筆頭副会長のあいさつの後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、18時21分に閉会した。

=以上=